

小論文(表紙)

氏名	フガナ	受験番号	※記入不要

(小論文論題)

2025年度 一般入試

以下の論題から1つを選択し、所定の記入用紙3枚以内で記述してください(図表添付可)。

なお、生成AIなどを用いて解答する者がいると考えられることから、口頭試問では記述内容から派生した事項についても質疑応答が行われる場合があります。

論題 1

Olivier J. Blanchard (2021), "The Mayekawa Lecture : Fiscal Policy under Low Rates : Taking Stock", Monetary and Economic Studies, NOVEMBER 2021, pp.23-33 を読み、次の各小問に答えなさい。

- (1) III. Debt Sustainability を 1,200 ~2,400 字程度で要約しなさい。
- (2) 政府債務の発散という観点から積極財政論の主張について述べた上で、財政出動に関して自分自身の見解を論理的に説明しなさい(文字数は限定しない)。

論題 2

James M. Buchanan (2014) Fiscal Theory and Political Economy (Selected Essays), Chapel Hill (初版1960年)の第2章には、Fiscal Illusion (財政錯覚)に関する記述があります。この概念は60年が経過した現代においても、高い重要性を持つと考えられます。以下の設問に答えなさい。

- 1. Buchanan が本書第2章で明示した Fiscal Illusion の概要を簡潔に説明しなさい。
- 2. Buchanan が本書第2章で明示的に指摘していない形で Fiscal Illusion が生じている現代的な具体例を2つ挙げ、それらがどのような意味で Fiscal Illusion に該当するかを論じなさい。

論題 3

X. Zhu (2014), An economic analysis of 'home appliances going to the countryside' in China, Papers in Regional Science, vol.93 pp.301-320 を読み、以下の各小問に答えなさい。

- (1) 本論文の内容を1,000字程度で要約しなさい。
- (2) 'home appliances going to the countryside' という政策の効果をどのように評価すべきか、本論文に即して述べなさい。

【注意事項】

この表紙と記入用紙1~3をホチキス留め(左上)して提出してください。

* 選択した論題の欄に○印を記してください。

論題 1	論題 2	論題 3

得点欄※	採点者署名※

※欄は記入しないでください